

高等学校への支援について

教頭 高橋 和恵

平成25年度から10年間続いてきた「高等学校特別支援隊」が、今年度から「高等学校特別支援チーム」という名称に変わりました。主な内容についてお知らせします。

	高等学校特別支援隊	高等学校特別支援チーム
目的は？	高等学校において特別な支援を必要とする生徒への支援と校内支援体制整備の充実を図る。(一部抜粋)	個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した高等学校への相談・支援を通して、校内支援体制の機能向上を図る。(一部抜粋)
相談支援の主な内容は？	<ul style="list-style-type: none"> ①校内支援体制の充実に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・校内支援委員会の運営に係る助言 ・個別の支援計画、個別の指導計画の作成と活用、評価に係る助言 ・教職員の研修に対する支援 ②生徒の学習や生活に関する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた支援の相談等 ・個別の支援計画、個別の指導計画の作成と活用、評価に係る助言 ③生徒の就労に関する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・就業体験受入企業の情報提供等 	<ul style="list-style-type: none"> ①校内委員会の運営(ケース会議の実施等)に係る助言 ②対象生徒の実態把握に係る助言 ③対象生徒の指導・支援方針に係る助言 ④対象生徒の個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用、評価に係る助言 ⑤対象生徒の進路指導に関する支援 ⑥対象生徒の相談・支援に係る教職員研修の支援(校内研修会の実施等)
メンバーは？	労働・福祉関係、教育関係、事務局、教育委員会	
研修会の開催は？	先進的な取組を行っている高等学校教員等を講師とし、高等学校等を会場に特別支援教育に関する研修会を開催する。	

高等学校特別支援隊が県内3地区に設置され、10年の間に各地区で学校のニーズに応じたケース検討や研修会等が着実に行われるようになってきました。

一方で、ケース検討会の内容や研修会の成果を生かし、各学校等における支援体制の機能向上を図るといった面での課題がありました。

高等学校特別支援チームでは、校内支援体制の機能向上を図るために、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を活用した相談・支援の充実を目指します。そのためには、相談・支援を依頼する側と受ける側の双方が趣旨を理解し、十分な共通理解を図ることが大切です。

今年度の県南地区特別支援教育研修会では、校内支援体制と個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用、評価に焦点をあて、大曲農業高等学校太田分校の取組が紹介されました。

実践紹介では校内委員会を中心とした校内支援体制、教職員の共通理解に基づいた組織的な生徒対応、個に応じた指導・支援、関係機関との連携など、これまで積み重ねられてきた実践例や具体的な資料などが提示されました。研修会の参加者からは、「組織的に機能する校内支援体制のあり方について参考になった」という感想が多く寄せられ、実り多い研修会となりました。

